

「総合的な学習の時間」実践事例(オンライン)

担当 小野智博(3年), 井田由紀(2年)

3年 「附中25Project Second Season」ガイダンス

【授業内容】

前期は、「25歳の自分像」をテーマに、キャリアプランニングやGTによる講演などの活動を通して、10年後の生き方について学習を積み重ねてきた。後期は、義務教育9年間の学びを発信するために、「附中生からの未来へ向けてのメッセージ」と題して、学習活動を行う。以下は、本時の取組である。

- 1、前期の振り返りと後期のガイダンス(Google スライド を活用)
- 2、レポート課題の提出(Google Classroomにドキュメントファイルの課題を出し、提出日までにオンライン上で提出させる)

【オンライン実践上の工夫と成果】

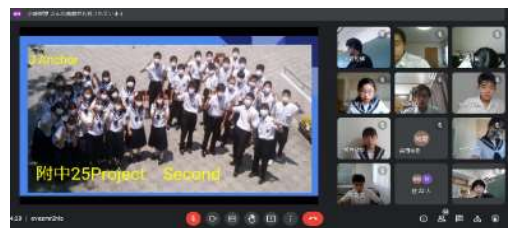
オンライン学習期間中で、在宅の時間が多く、調べ学習の時間を確保できる中で、課題を提出できた。

【オンライン実践上の課題】

オンライン上での協働学習の難しさ。



【授業者が発信している様子】



【ガイダンスの画面】



【学習者が提出したレポートの一部】

2年 「大分を見つめ発信しよう」2ndSTAGEへの第一歩

【授業内容】

前期、農業をキーワードにして「大分県の魅力」を考える活動を通して、探求学習の方法やICTの活用方法について学習を積み重ねた。後期「大分県の魅力」をいろいろな視点から発見していくために「SDGs」をキーワードとして探究活動をおこなう。本時は、オンライン授業で可能な課題設定の準備を次のように行った。

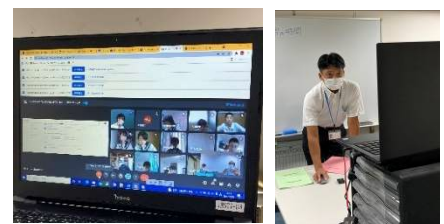
- 1、前期を振り返る(Google Form を活用)
- 2、課題の候補について話し合う
(Google Meet によるグループ活動)
(スプレッドシートを協働作業して意見の集約)

【オンライン実践上の工夫と成果】

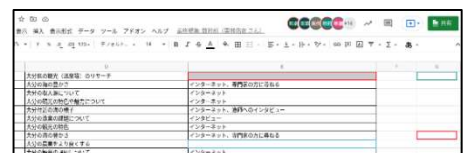
オンラインで可能な活動を切り取ることで授業を実践できた。新しい協働作業の形を考えることができた。

【オンライン実践上の課題】

自由な発言を伴う活動には有効。合意形成は対面授業が望ましい。通信環境により作業や活動に個人差がでてしまう。



【授業者が発信している様子】



【スプレッドシートによる協働作業】



【グループによる話し合い活動】